

水難事故のあらまし

～平成26年中の水難事故と救助活動状況～



岐 阜 県 警 察 本 部

目 次

第 1	水難事故の発生状況	
1	概況	1
2	過去 10 年間の発生状況	2
3	月別発生状況	3
4	場所別発生状況	4
5	態様別発生状況	5
6	曜日別発生状況	6
7	原因別発生状況	6
8	年齢別発生状況	7
9	子ども（中学生以下）の水難事故発生状況	8
10	高齢者（65 歳以上）の水難事故発生状況	9
11	居住地別事故者数	10
第 2	水難救助活動の状況	
1	出動状況	10
2	救助事例	11
3	水難救助訓練実施状況	11
4	小型船舶操縦士の養成	12
第 3	その他	
1	水上バイク等の事故防止対策	12
2	水難事故防止広報活動	13

表 紙 写 真

美濃市内長良川における警察・消防合同による水難救助訓練
(平成 26 年 6 月撮影)

第1 水難事故の発生状況

1 概況

[平成26年中の岐阜県内における水難事故の発生状況]

発生33件（前年比－3件）、事故者43人（前年比－2人）

[事故者の内訳]

- 死亡 18人（前年比 +5人）
- 行方不明 0人（前年比 -1人）
- 負傷 6人（前年比 -8人）
- 無事救助 19人（前年比 +2人）

[主な特徴]

- 前年に比べ発生件数、事故者数ともに減少
- 全体の約88%（29件）が河川で発生、うち約41%（12件）が長良川で発生
- 水泳中の事故が最多（9件、前年比+4件）
- 子ども（中学生以下）の事故が増加（7件、前年比+2件）
- 高齢者（65歳以上）の事故が減少（9件、前年比-3件）

[水難事故の発生状況(前年比)]

区分 年別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
平成26年	33	43	18	0	0	6	19
平成25年	36	45	13	1	3	11	17
増減	-3	-2	+5	-1	-3	-5	+2



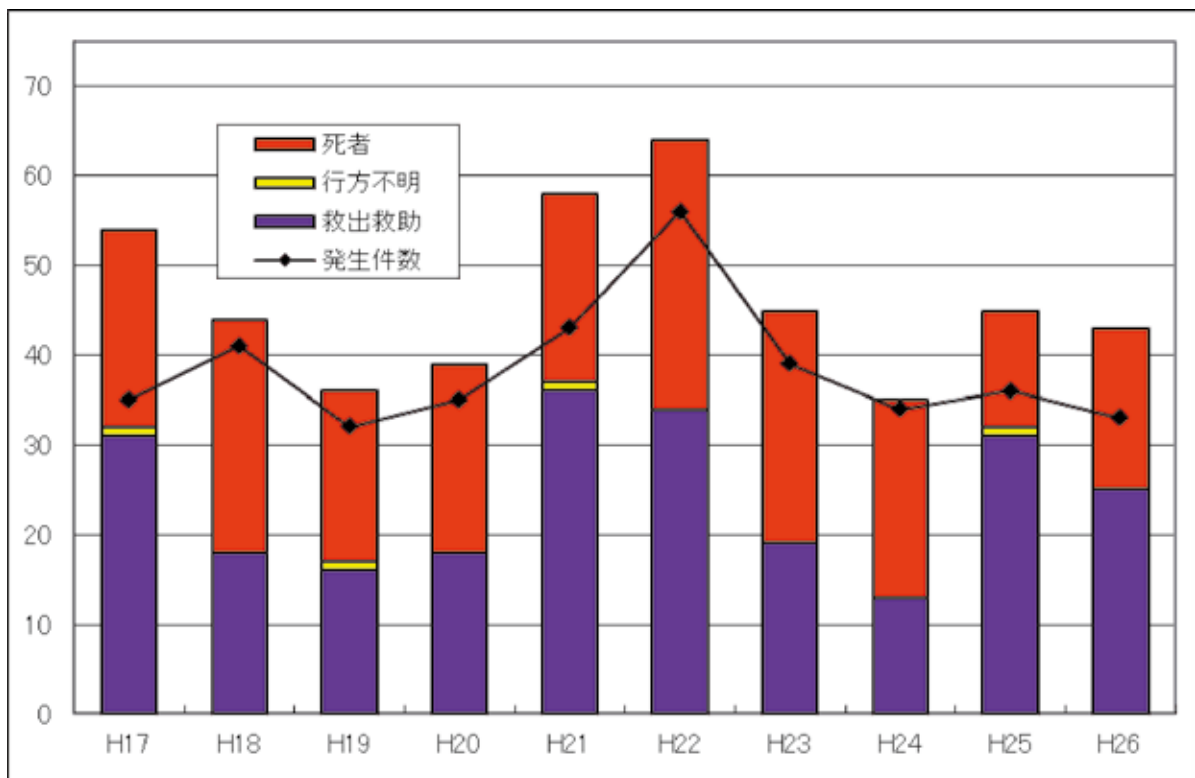
舟艇を活用した救助訓練

2 過去10年間の発生状況

- 発生件数、事故者数ともに減少したものの、死亡は18人（前年比+5人）と増加した。

[過去10年間の発生状況]

年 別	区 分	発生件数 (件)	事 故 者 数 (人)			
			死亡	行方不明	救出救助	
平成17年		35	54	22	1	31
平成18年		41	44	26		18
平成19年		32	36	19	1	16
平成20年		35	39	21		18
平成21年		43	58	21	1	36
平成22年		56	64	30		34
平成23年		39	45	26		19
平成24年		34	35	22		13
平成25年		36	45	13	1	31
平成26年		33	43	18		25



3 月別発生状況

○ 7月～8月の夏期シーズンの発生が、16件（前年比－10件）で全体の約48%を占めている。

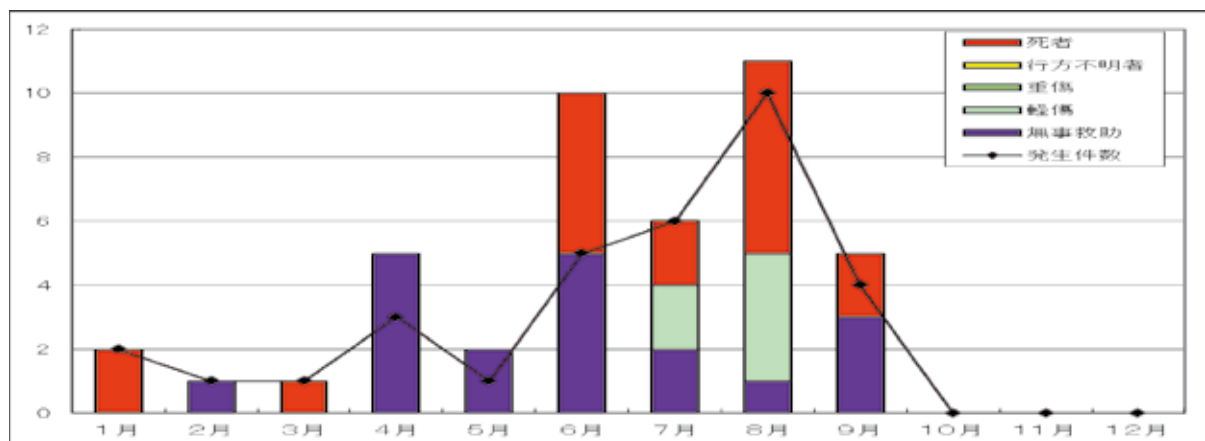
事故者数は17人（前年比－18人）で、内訳は、死亡8人（前年比－2人）、行方不明0人（前年比－1人）、救出救助9人（前年比－15人）であった。

○ 夏期シーズン前の6月中の発生が、5件（前年比＋2件）10人（前年比＋7人）で、発生件数・事故者数ともに増加した。

事故者数の内訳は、死亡5人（前年比＋4人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助5人（前年比＋3人）であった。

[月別発生状況]

区分 月別	発生件数 (件)	事故者数(人)				
		死亡	行方不明	救出救助		
				重傷	軽傷	無事救助
1月	2	2	2			
2月	1	1				1
3月	1	1	1			
4月	3	5				5
5月	1	2				2
6月	5	10	5			5
7月	6	6	2		2	2
8月	10	11	6		4	1
9月	4	5	2			3
10月						
11月						
12月						
合計	33	43	18		6	19



4 場所別発生状況

○ 河川での事故が最も多く、29件（前年比－3件）発生し、全体の約88%を占めている。

事故者数は39人（前年比－2人）で、内訳は、死亡16人（前年比＋4人）、行方不明0人（前年比－1人）、救出救助23人（前年比－5人）であった。

○ 河川別では、長良川での発生が最も多く、12件（前年比＋5件）発生し、河川全体の約41%を占めている。

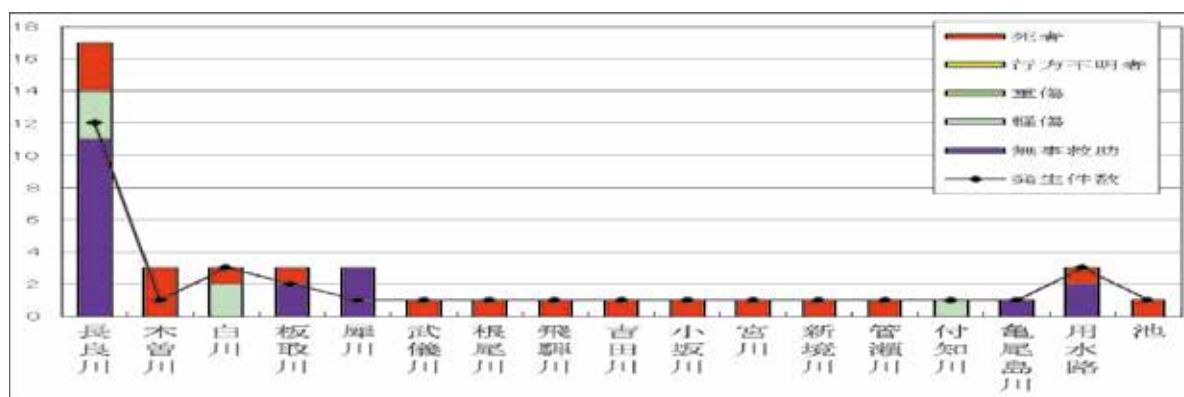
事故者数は17人（前年比＋6人）で、内訳は、死亡3人（前年比＋1人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助14人（前年比＋5人）であった。

長良川に次いで、昨年発生がない白川で3件（前年比＋3件）発生した。

事故者数は3人（前年比＋3人）で、内訳は、死亡1人（前年比＋1人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助2人（前年比＋2人）であった。

[場所別発生状況]

場所別	区分	発生件数 (件)	事故者数(人)					
			死亡	行方不明	救出救助			
					重傷	軽傷	無事救助	
河川		29	39	16			6	17
長良川		12	17	3			3	11
木曾川		1	3	3				
白川		3	3	1			2	
板取川		2	3	1				2
犀川		1	3					3
武儀川		1	1	1				
根尾川		1	1	1				
飛騨川		1	1	1				
吉田川		1	1	1				
小坂川		1	1	1				
宮川		1	1	1				
新境川		1	1	1				
管瀬川		1	1	1				
付知川		1	1				1	
亀尾島川		1	1					1
用水路		3	3	1				2
池		1	1	1				
合計		33	43	18			6	19



5 態様別発生状況

- 水泳中の事故が最も多く、9件（前年比+4件）発生し、全体の約27%を占めている。

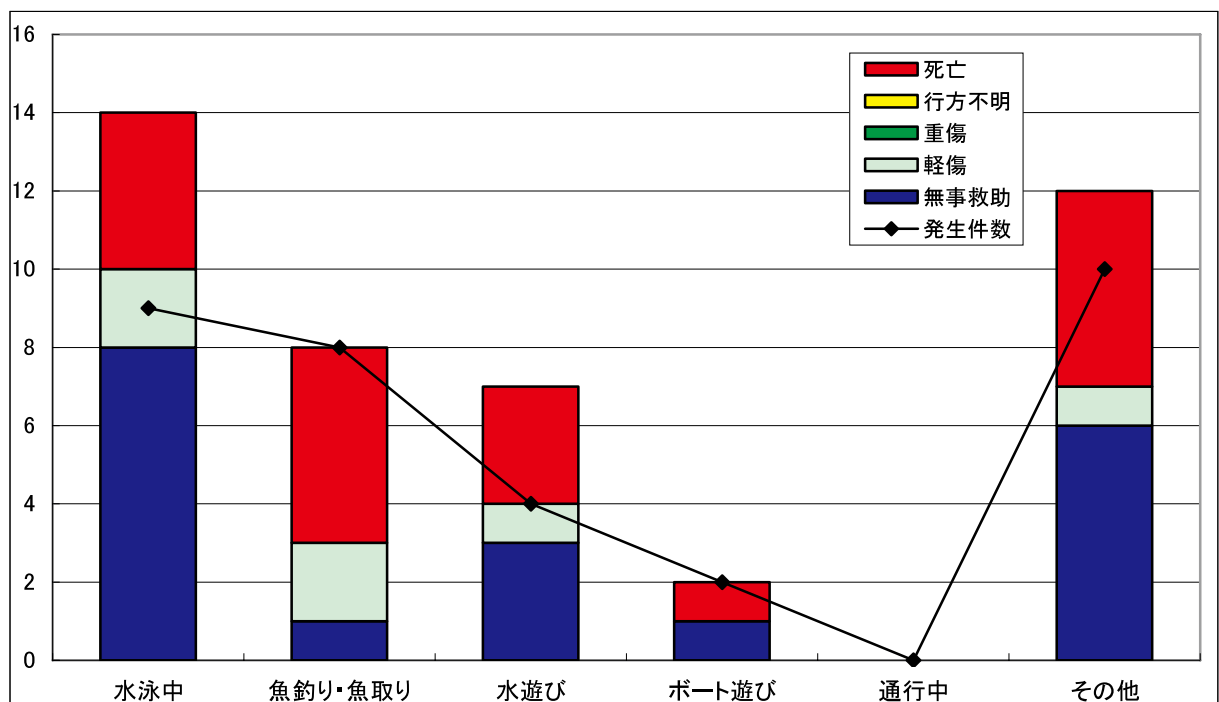
事故者数は14人（前年比+6人）で、内訳は、死亡4人（前年比+4人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助10人（前年比+2人）であった。

- 水遊び中の事故が4件（前年比-11件）発生し、前年より減少した。

事故者数は7人（前年比-12人）で、内訳は、死亡3人（前年比-4人）、行方不明0人（前年比-1人）、救出救助4人（前年比-7人）であった。

[態様別発生状況]

区分 態様別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
水泳中	9	14	4			2	8
魚釣り・魚取り	8	8	5			2	1
水遊び	4	7	3			1	3
ボート遊び	2	2	1				1
通行中							
その他	10	12	5			1	6
合計	33	43	18			6	19



6 曜日別発生状況

[曜日別発生状況]

- 日曜日の発生が8件（前年比+3件）と最も多く、全体の約24%を占めている。
また、週末（金曜日、土曜日、日曜日）の発生が合計14件（前年比-3件）で、全体の約42%を占めている。
- 平日においては、水曜日の発生が7件（前年比+2件）で、日曜日に次いで多く、全体の約21%を占めている。

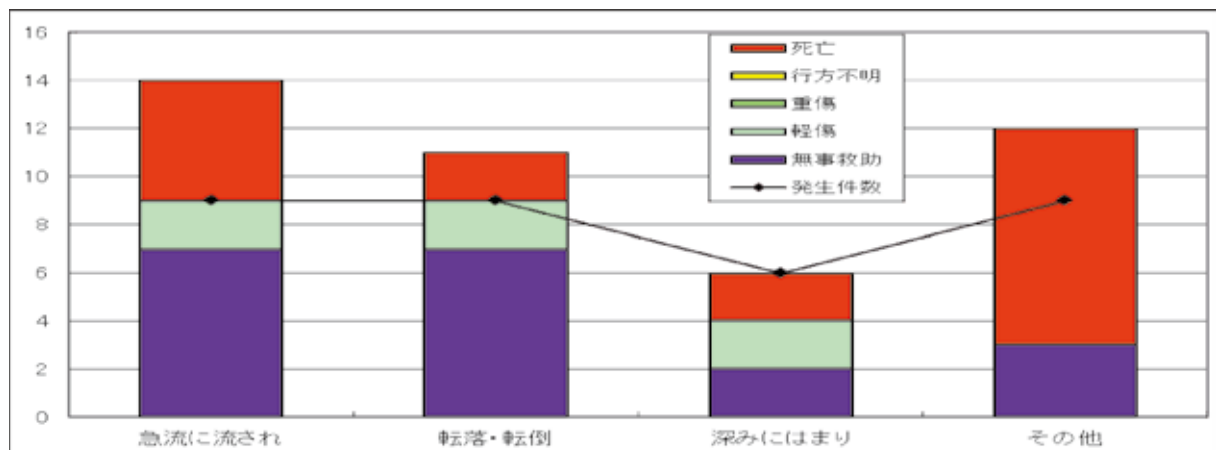


7 原因別発生状況

- 急流に流される事故の発生が、9件（前年比±0件）14人（前年比±0人）で、事故者数の内訳は、死亡5人（前年比+2人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助9人（前年比-2人）であった。
転落・転倒による事故の発生も9件（前年比-1件）で、事故者数は11人（前年比±0人）であり、内訳は、死亡2人（前年比-2人）、行方不明0人（前年比-1人）、救出救助9人（前年比+3人）であった。

[原因別発生状況]

区分 原因別	発生件数 (件)	事故者数(人)					
		死亡	行方不明	救出救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
急流に流され	9	14	5			2	7
転落・転倒	9	11	2			2	7
深みにはまり	6	6	2			2	2
その他	9	12	9				3
合計	33	43	18			6	19



8 年齢別発生状況

- 15歳～19歳までの事故が11人（前年比－2人）と最も多く、全体の約26%を占めている。

事故者数の内訳は、死亡3人（前年比±0人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助8人（前年比－2人）であった。

次いで、14歳以下の事故が10人（前年比＋5人）と多く、全体の約23%を占めている。

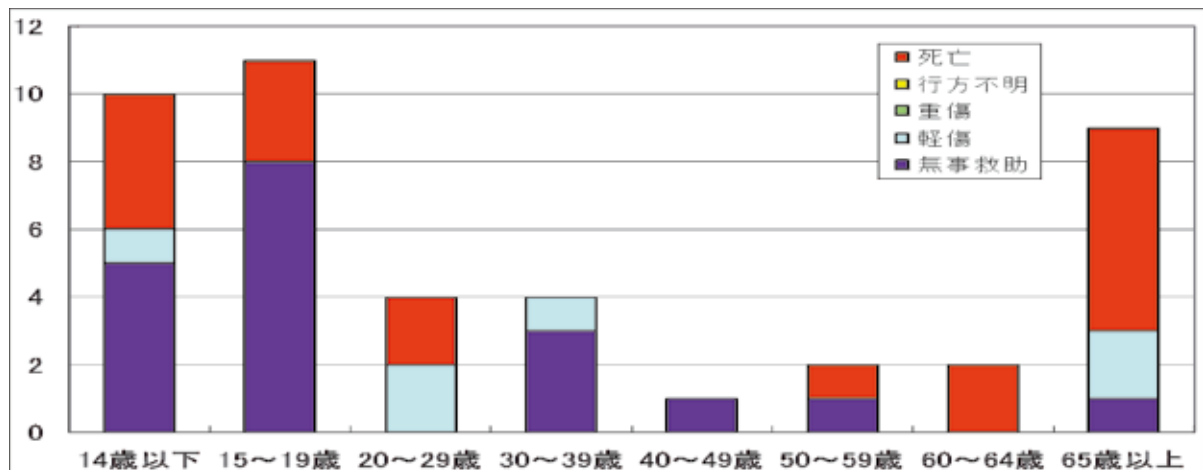
事故者数の内訳は、死亡4人（前年比＋3人）、行方不明0人（前年比－1人）、救出救助6人（前年比＋3人）であった。

- 65歳以上の事故が9人（前年比－3人）と前年より減少したものの、全体の約21%を占めている。

事故者数の内訳は、死亡6人（前年比±0人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助3人（前年比－3人）であった。

[年齢別発生状況]

区 分 年 齢 別	事 故 者 数 (人)					
		死亡	行方不明	救出救助		
				重傷	軽傷	無事救助
14歳以下	10	4			1	5
15～19歳	11	3				8
20～29歳	4	2			2	
30～39歳	4				1	3
40～49歳	1					1
50～59歳	2	1				1
60～64歳	2	2				
65歳以上	9	6			2	1
合 計	43	18			6	19



9 子ども（中学生以下）の水難事故発生状況

○ 子ども（中学生以下）の事故の発生が、7件（前年比+2件）10人（前年比+4人）で、発生件数、事故者数ともに増加した。

事故者数の内訳は、死亡4人（前年比+3人）、行方不明0人（前年比-1人）、救出救助6人（前年比+2人）であり、死亡は過去10年間で最も高い数値となった。

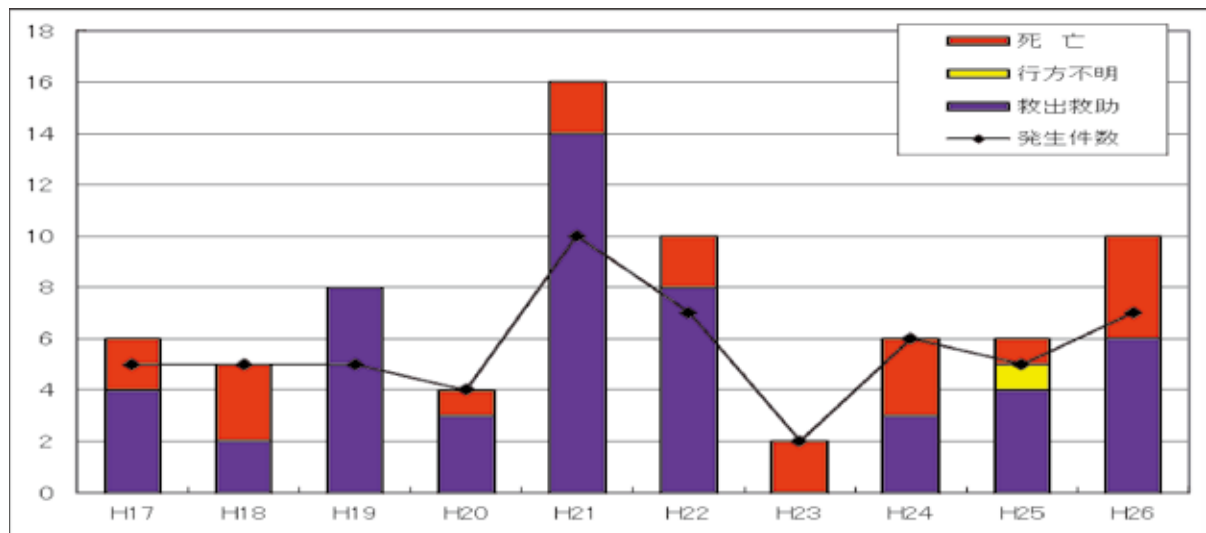
[子ども（中学生以下）の態様別水難事故発生状況]

態様別	区分	発生件数 (件)	事故者数(人)		
			死亡	行方不明	救出救助
水遊び中		1	3	3	
水泳中		1	1		1
その他		5	6	1	5
合計		7	10	4	6

(注)その他は陸上での遊戯中の落水等

[過去10年間における子供（中学生以下）の水難事故発生状況]

年別	区分	発生件数 (件)	事故者数(人)		
			死亡	行方不明	救出救助
平成17年		5	6	2	4
平成18年		5	5	3	2
平成19年		5	8		8
平成20年		4	4	1	3
平成21年		10	16	2	14
平成22年		7	10	2	8
平成23年		2	2	2	
平成24年		6	6	3	3
平成25年		5	6	1	1
平成26年		7	10	4	6



10 高齢者（65歳以上）の水難事故発生状況

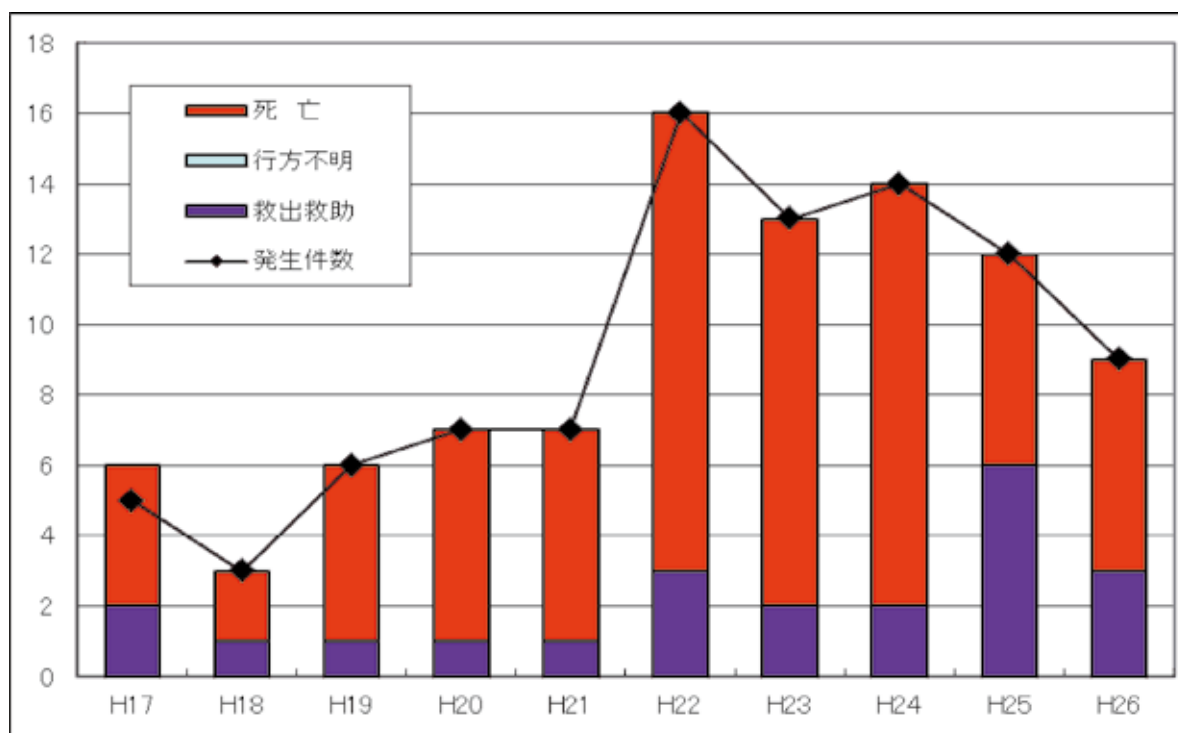
○ 高齢者（65歳以上）の事故の発生が、9件（前年比－3件）9人（前年比－3人）で、発生件数、事故者数ともに減少した。

事故者数の内訳は、死亡6人（前年比±0人）、行方不明0人（前年比±0人）、救出救助3人（前年比－3人）であった。

○ 事故態様については、9件中、4件が魚釣り・魚取り（鮎釣り）中の事故であった。

[過去10年間における高齢者（65歳以上）の水難事故発生状況]

年 別	区 分	発生件数 (件)	事 故 者 数 (人)		
			死 亡	行方不明	救出救助
平成17年		5	6	4	2
平成18年		3	3	2	1
平成19年		6	6	5	1
平成20年		7	7	6	1
平成21年		7	7	6	1
平成22年		16	16	13	3
平成23年		13	13	11	2
平成24年		14	14	12	2
平成25年		12	12	6	6
平成26年		9	9	6	3



11 居住地別事故者数

- 事故者を居住地別にみると、県内居住者と愛知県居住者が同数で、両県の事故者数の合計が全体の約93%を占めている。

[居住地別事故者数]

区分 県別	事故者数(人)					
		死者	行方不明	救出救助		
				重傷	軽傷	無事救助
東京都	1				1	
栃木県	1	1				
岐阜県	20	10			1	9
愛知県	20	7			3	10
大阪府	1				1	
合計	43	18			6	19

第2 水難救助活動の状況

1 出動状況

- 水難救助活動に、警察官が延べ646人、消防署(団)員が延べ645人出動した。
- 県警及び県防災のヘリコプターが、9件の事故に対し延べ19回、警察・消防等の舟艇が、6件の事故に対し延べ29回出動した。

区分 年別	発生件数 (件)	出動状況(人)		ヘリ出動		舟艇出動	
		警察官	消防	件数	回数	件数	回数
平成26年	33	646	645	9	19	6	29
平成25年	36	730	2,369	6	26	7	25
増減	-3	-84	-1,724	+3	-7	-1	+4

2 救助事例

日 時	場 所	状 況
8月31日（日）	中津川市 付知川	魚釣りに訪れていた事故者（男性1人）が、転倒して急流に流された際、付近で魚釣りをしていた男性4人が事故に気付き、川岸に引き上げ救助した。
9月27日（土）	関市 長良川	川の対岸に泳いで横断中、急流に流されて溺れた事故者（男性1人）に、カヌー教室を行っていたインストラクターが気付き、川岸に引き上げ救助した。

3 水難救助訓練実施状況

- 県内には、長良川、木曾川、揖斐川の三大河川をはじめ、ため池や農業用水などが数多く点在している。

各警察署では、水難事故に対して迅速かつ的確な救助活動を行うため、警察署独自又は消防機関や県防災航空隊、警察航空隊と合同で水難救助訓練を実施した。



警察航空隊との合同訓練



救急法訓練

4 小型船舶操縦士の養成

- 水難事故の発生時において、舟艇を活用した水難救助活動を迅速的確に実施するため、水難救助用の小型船舶が配備されている警察署や事故者の捜索等に当たる機動隊の警察官を対象に「二級小型船舶操縦士免許講習」を受講させている。



舟艇操縦訓練

第3 その他

1 水上バイク等の事故防止対策

- レジャーの多様化、アウトドアスポーツの普及により、河川の利用環境は変化してきており、遊泳者や釣り人等の第三者を巻き込んだレジャー事故の発生を防止するため、関係機関・団体と連携し、広報啓発用看板の設置や河川のパトロールを実施するなどの活動を推進した。
- 平成26年中は、水上バイク等による事故が3件発生し、4人が負傷した。

[事故概要]

- ・ 7月21日（月）羽島市内の木曾川で、ウェイクボードで遊んでいた女性1人が、操作を誤ってバランスを崩し、サイドエッジが衝突して負傷した。
- ・ 7月27日（日）岐阜市内の長良川で、水上バイク同士が衝突し、男性1人と女性1人がそれぞれ負傷した。
- ・ 8月7日（木）岐阜市内の長良川で、女性3人が水上バイクに乗船中、うち1人が船外へ振り落とされ負傷した。

[過去5年間における水上バイク等の事故発生状況]

区 分 年 別	発生件数 (件)	事 故 者 総 数 (人)		
		死者	負傷	救出救助
平成22年	0	0		
平成23年	0	0		
平成24年	1	1	1	
平成25年	3	3	3	
平成26年	3	4	4	

2 水難事故防止広報活動

- 県下の警察署では、7～8月の夏期に、関係機関と連携し、河川などの危険箇所に対する安全点検やパトロールを行い、遊泳者、水上バイク利用者、釣り人などに対する事故防止広報や安全指導を行った。

また、交番・駐在所が発行するミニ広報紙や、テレビ、ラジオなどのメディアを利用した広報啓発活動を展開した。

- 各務原警察署等では、6月19日、各務原市川島渡町の木曾川で小中学生3人が水死した事故を受け、国土交通省木曾川上流河川事務所等関係機関と合同で、再発防止に向けた「緊急河川安全利用点検（安全点検）」を行い、河川の状況・危険箇所の再確認と注意看板設置箇所・内容等の確認をした。



河川利用者に対する広報（揖斐川）

- 中津川警察署では、7月2日、中津川市内の付知川において開催された、付知中学校主催による水難防止学習に、中津川市北消防署、中津川市役所等とともに参加し、水難事故防止を呼びかける広報啓発活動等を行った。



水難防止学習の状況（付知川）

- 加茂警察署では、加茂郡内の自治体が設置する「飛騨川下流域水上安全・環境保全連絡協議会」が作成した水難事故防止チラシを、同郡内4町村の小・中学生、保育園の児童生徒、園児及び教職員に配布し、夏休みにおける水難事故防止を指導した。

- 揖斐警察署では、8月24日、揖斐川町地内のオートキャンプ場において、揖斐土木事務所、揖斐消防署、揖斐川町役場と合同で、水難事故防止のカード入りティッシュ（岐阜県河川課作成）を配布し、水難事故防止を呼びかける広報啓発活動を行った。



水難事故防止広報（粕川）



加茂署が配布したチラシ